

海の中道 花壇コンクール 最優秀賞！！



豊かな発想を生かした、個性溢れる花壇作りの参加者を募集。しかもテーマは「未来の子供たちへ」と聞いたとき、「緑の会」の仲間たちのことを思いました。

皆さんなら発想、個性、花壇作成はお手のもの。しかも森づくりで植樹をしながら、次世代の子どもたちの環境も心がけていらっしゃいます。4拍子揃った皆さんが力を出し合えば、きっと・・・！さっそくプランの検討が始まりました。

写真のような直径2mの花壇が出来上がるまでの道中は、皆さんのアイデアとチームプレーに拍手の連続でした。過去に複数の受賞の経験を持つ先輩方のアドバイスもありがたかったですね。

今回の最優秀賞は皆さんのチームワークの賜物です。皆さん、おつかれさまでした。やったね！！そしてなにより、花壇を彩ってくれている花たち！ ありがとう。（横大路）



◆ サザンカ・先生と剪定！



4月10日の森づくりの日は、3月に植樹したコスモス館南側サザンカ・シシガシラ種の保護と整枝のための剪定を行いました。7名の会員は、10万本ふるさとの森づくり実行委員長の新先生の助言と指導によって、剪定に取り組みました。9時30分からの作業予定でしたが、先生はそれ以前に動力剪定機で大半の作業を進めて居られました。

会員も先生に習い、先生が持参した発電機と会員が提供した2機の剪定機と通常の剪定鋏を持って、徒長枝を剪定しました。作業の終了後、植林地周辺のゴミを拾い、続いて支柱の紐く

くり直しや、伸び始めたクズ退治などを行い、12時前にこの日の作業を終了しました。

◆ グリーンパークでゴミ拾い！

サザンカの手入れを終わった会員7名が集まり、今年3月植林したコスモス館周辺に散乱したゴミ拾いをしました。

この植林地周辺には、トラックなどが昼夜を問わず駐車していて、これまでも特にゴミ捨ての多い地域です。弁当殻やペットボトル、飲料空瓶、雑誌、お菓子の空箱、ビニール袋など雑多なゴミがあり、市の大型ゴミ袋に満杯のゴミを拾いました。

緑の会では、植林地がゴミ捨て場にならないように、今後もきれいな公園のために頑張ります。



◆ はればれ！みどり苑花壇

4月7日の定例園芸庭園作業日は、みどり苑花壇の手入れをしました。

この日、9時30分に園芸庭園「はなちどり」に集合した14名の会員は3台の自動車に乗合わせ、「はなちどり」で育てたポピーとワスレナグサの苗を持参して出かけました。みどり苑の花壇では、すでにトウ立ちしてしまったハボタンを取り除き、持参の苗を植え込みました。会員の手で一先懸命育てた苗が花壇を彩り、みどり苑の方たちにひと時の和みと幸せを感じてもらえたら、緑の会員自らも日ごろの苦勞が幸せに転じ、喜びの作業になります。

◆ 東小学校「お花をどうぞ」を韓国釜山で事例発表

4月27日 釜山市役所で開催された「福岡—釜山花みどり都市交流」の集まりで、古賀市広報1月号に掲載された、えんがわくらぶと古賀東小学校3年生との園芸福祉活動「お花をどうぞ」の行事を、400人ほどの釜山市の活動家の前で発表しました。この交流会では、初めに園芸福祉普及協会の吉長副理事長の基調講演があり、続いてふくおかネットや福岡市都市緑化推進課の他、韓国仁川のコミュニティーガーデンの報告等が行われました。フリートーキングでは、「早急に福岡に負けない園芸福祉の組織づくりをしよう！」との発言があり、釜山市に大きな感銘を与えました。

なお、今年の「お花をどうぞ」は、4月23日に花鉢作り、5月14日(木)にお年寄り家庭への訪問、7月16日(木)に「お花は元気ですか」の再訪問が予定されています。

◆ 来年の植林地見！

4月17日、ふるさと10万本森づくりの蕨実行委員長と市役所職員2名、緑の会員3名が、来年植林を予定している医王寺の竹林の現地確認を行いました。

医王寺の現地は市有の竹林で、今後伐採搬出が始まります。植林現場がグリーンパークを離れるため、参加者集合場所や駐車場確保、開会式方式、移動方法、給食方法などは今後検討を続けます。

会員の声

園芸が大好き！

「みちのくのしのぶもぢぢり 誰ゆゑに 乱れそめにし われならなくに」

小倉百人一首 14番 河原左大臣(王朝時代の歌) もぢぢり=別名 ねじばな(野草)

この歌は、ほぐすすべもない恋心の苦しい乱れが象徴される代表的な恋歌のひとつといわれています。題材にある草花が、現代の私たちでも目にふれることにロマンを感じませんか。

子どものころから花が大好きでしたので、福祉施設在職時は園芸クラブの顧問として、多くの花を育てる活動を行い、退職後は『えんがわくらぶ』に入会して、仲間と一緒に花壇づくりや野菜づくり等をしています。また、古賀東小学校三年生の子どもたちと一緒に、一人住まいのお年寄り宅を訪問して「お花をどうぞ・・・」等の活動を楽しみ、花や植物の声を聞きながら、元気をもらっています。

『花や緑をそだて、みんなで幸せになろう』との園芸福祉活動の主旨に賛同をして、「園芸福祉士養成講座」を受講し「緑の会」に入会しました。和気あいあいの中での作業・行事・研修会等の参加で多くのことを学び、幸せを感じています。美しい花を見ることで、人の心が癒されます。地域で皆さんと一緒に花を植えることで、コミュニケーションの輪も広がったように思われます。多くの方々に入会をしていただき、皆さんで花や緑をそだて、もっと幸せになりましょう・・・！！

今後ともよろしく願いいたします。

京谷 千恵子

